



地震

緊急地震速報

「緊急地震速報」は、震度5弱以上の揺れが予測された時に、震度4以上の揺れを予測した地域に対して、気象庁から発表されます。この数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、ただちに身を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



地震発生時の時間経過別行動マニュアル

グラツときたら 地震発生! 最初の大きな揺れは約1分間

- まず、自分の身を守る安全確保
- ドアや窓を開けて逃げ道を確保

1～3分 揺れがおさまったら

- 火元を確認し、ブレーカーを落とす
- 靴をはいて外に出る
- 家族の安全を確認
- 沿岸部は津波にそなえて高台へ避難

5分 みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 一人ぐらしの高齢者などの安全を確認

出火防止 初期消火

- 初期消火
- 余震に注意
- 漏電・ガス漏れに注意

10分 ラジオやスマートフォンなどで正しい情報を得る

- けが人や行方不明者がいないか確認
- デマにまどわされない
- 電話は緊急連絡を優先する
- 防災情報、避難情報を確認する
- 避難時に車は極力使用しない

数時間 協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう ※3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集
- 助け合いの心が大切
- 無理はやめよう
- 壊れた家に入らない

屋内にいた場合

- 家の中
 - 裸足で歩き回らない
- マンション・集合住宅
 - ドアや窓を開けて避難口を確保する
 - エレベーターは使わない
- ホール・映画館
 - 座席の間に身を隠す

屋外にいた場合

- 路上
 - 落下物に注意し、ビルのそばから離れる
 - ブロック塀や自動販売機などに近づかない
- 車を運転中
 - ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とす
- 海岸付近
 - 高台に避難する
- 山やがけ付近
 - 落石やがけ崩れに注意する

震度マップについて

この地図は、福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書(平成24年3月)を使用して作成したもので、被害が最大となる西山断層(震源断層(西山区間)の長さ31km、マグニチュード7.3)による地震を想定しています。



ゆれやすさマップについて

「ゆれやすさマップ」は、マグニチュード7.3の規模の地震が発生した場合のゆれやすさ(震度)を予想した地図となっています。(※「マグニチュード」は地震が起こった時の地震の規模を示すもので、「震度」は地震によりある場所が揺れる程度を示しています。)

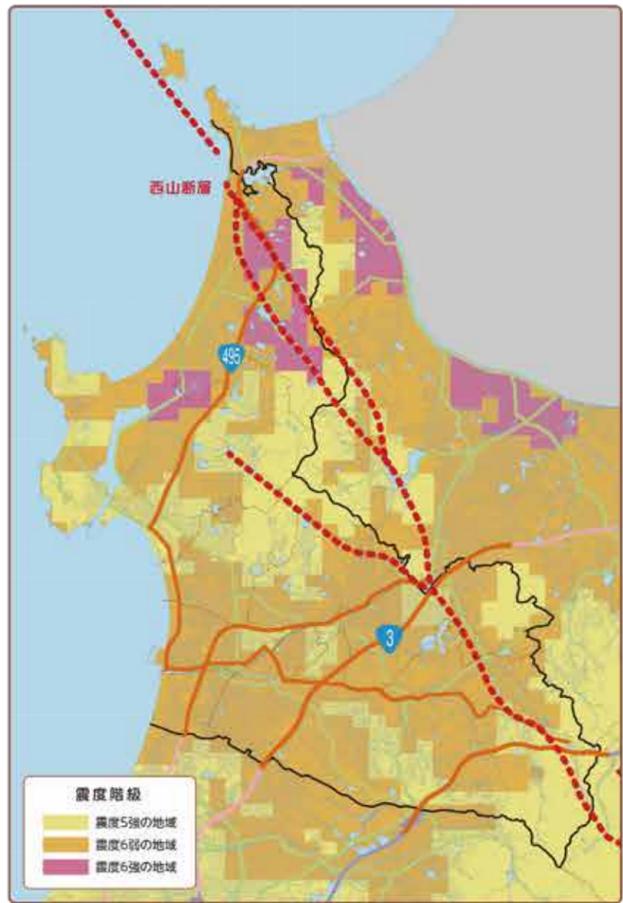
危険度マップについて

「危険度マップ」は、「ゆれやすさマップ」で示した強さの揺れが起こった場合の建物被害の程度(木造建物全壊率)を表しています。木造建物全壊率は、地域に建っている木造建物のうち、何割の建物が全壊するかを想定しています。全壊率の数値が大きくなるほど、建物が受ける被害が大きくなることが予想されます。

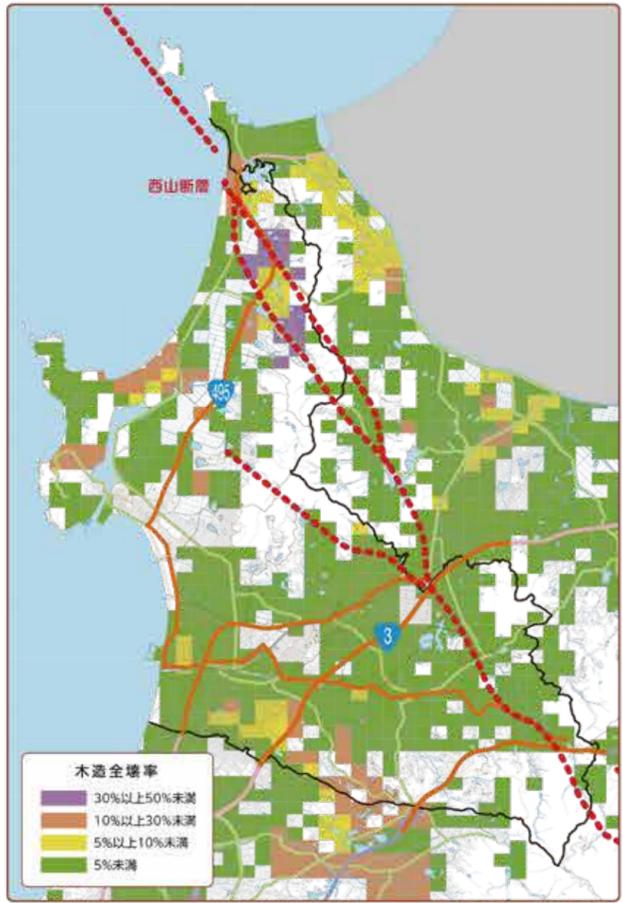
液状化マップについて

「液状化マップ」は、地震により地盤が強い衝撃を受けて、土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことをいいます。液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、その上に立っていた建物が沈んだり(傾いたり)、マンホールや埋設管が浮かんだり、地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生します。

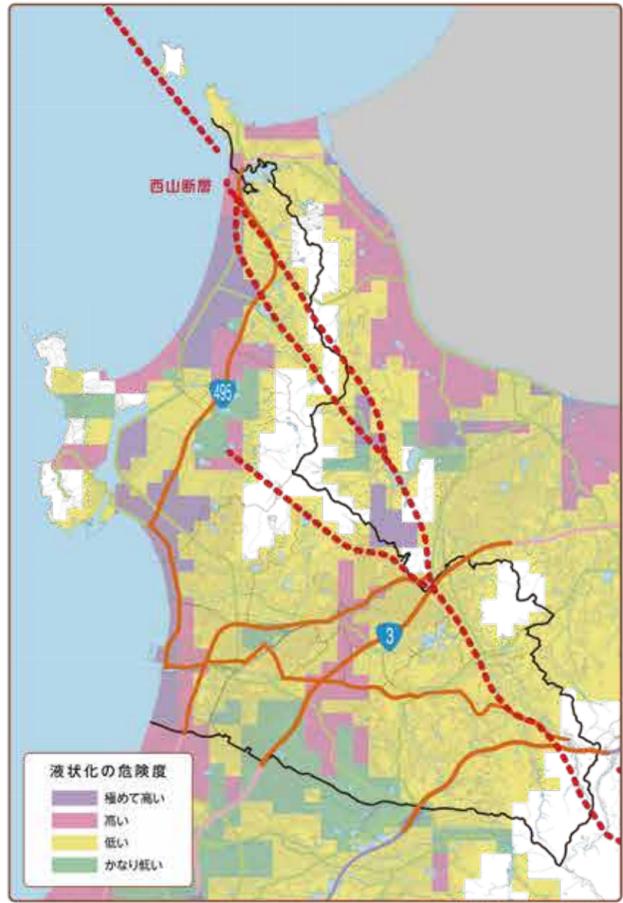
ゆれやすさマップ



危険度マップ



液状化マップ



出典「福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書(平成24年3月)」(一部改変)